

2014年(平成26年)6月8日(日曜日)

# ヒマワリ 今年も真夏に大輪を SP委 願い込め100人種まき

ヒマワリを活用した地域活性化活動「釈迦内サンフラワープロジェクト(S.P)」の一環で、今季の種まき作業が大館市内で盛んに行われてい

る。7日は一般企業や大学生、地元の小中学生ら約100人のボランティアが同市松木の休耕田約1000平方メートルにまき、真夏に大輪が開くことを願った。

活動5年目を迎え、SP実行委員会(日景賢悟委員長)が種を協力団体に配布し、市内全域で順次種まきが進んでいる。実行委によると、少なくとも市内10団体のほか、島根県内のNPO、小学校が協力する予定。



ヒマワリの種を植えるボランティアたち(大館市松木)

この日は実行委が広く参加を呼び掛け、秋田銀行や秋田大学、市教委の子どもハローワークを通じて児童生徒が松木橋付近の休耕田に集まった。

3、4人ずつのグループごとに指で土に穴を開け、種をまいては土をかぶせる作業を約1時間行った。市内の会社員、佐々木幸弘さん(27)は「共同作業が楽しい。夏に種を採るまで参加し続けたい」と充実した表情。同じグループで作業した釈迦内小6年の畠山莉彩さん(11)は「みんなが笑顔になり、地域が明るくなるようにヒマワリが育てほしい」と願っていた。

市内では8月ごろ、花の見頃を迎えるという。同23日と9月3日に刈り取り作業を行う計画で、採った種から搾油して食用油に製品化する。